

## 脱炭素化に向けた取組に関するアンケート調査結果（概要）

**1 調査目的：**2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、本県産業施策を検討するにあたり、県内企業の脱炭素化に向けた取組状況や課題等について調査を行うとともに、電動化への対応が喫緊の課題となっている自動車関連の開発・生産に携わる企業に対し、電動化の進展の影響や取組状況等について調査を行った。

**2 調査期間：**令和3（2021）年6月16日～7月15日

**3 調査対象：**とちぎ産業振興協議会(自動車・航空宇宙・医療福祉機器)会員企業  
とちぎ未来技術フォーラム(AI・IoT・ロボット、光学、環境・新素材)  
会員企業

計 705社

**4 有効回答数（回答率）：**

(1)脱炭素化に向けた取組状況や課題等について 160社/705社(22.7%)

(2)自動車の電動化の進展に伴う影響や取組状況等について※ 66社/338社(19.5%)

(※自動車関連の開発・生産に携わる会員企業が対象)

# 脱炭素化に向けた取組に関するアンケート調査結果（概要）

## 5 結果概要

### (1) 脱炭素化に向けた取組状況や課題等について（回答企業数 160社）

- 9割の企業が脱炭素化に取り組む必要があるとし、取組意識は非常に高い。
- 中小企業の3割は脱炭素化に向けた取組を行っておらず、中小企業は大企業に比べて取組が遅れている。
- 現在の取組では「省エネ設備の導入」や「自社のエネルギー使用量の把握」が多く、効果が分かりやすく、投資リスクの低い取組が実施されている。
- 脱炭素化に資する技術・製品の開発等に向けて、「自動車産業」、「航空機産業」、「蓄電池産業」への参入関心が高い。
- 取組上での課題として「専門知識やノウハウ不足」、「どのレベルまでの対応が必要か分からない」、「コストに見合う効果が見込めない」、「取組を推進する人材がない」との回答が多い。
- 必要な公的支援については、「情報提供（国・業界動向、素材・部品等）」、「設備投資への補助」、「新技術・新製品開発支援」が多い。

# 脱炭素化に向けた取組に関するアンケート調査結果（概要）

## 5 結果概要

### (2) 自動車の電動化の進展に伴う影響や取組状況等について（回答企業数 66社）

- 中小企業では、電動化の進展に伴う今後の影響について、「プラスの影響がある」が25%、「マイナスの影響がある」が34%であった。
- 「マイナスの影響がある」と回答した中小企業では、「エンジン部品」、「駆動・伝導及び操縦装置部品」の開発・生産に携わっている企業が多い。
- 電動化の進展に対応するため、「自動車分野における新規取引先の開拓」、「自動車以外の分野への進出又は業態転換」、「電動車に使用する新たな製品の研究・開発」に取り組んでいる企業が多い。
- 必要な公的支援については、「情報提供（国・業界動向、生産技術等）」、「設備投資への補助」、「販路開拓支援」、「新技術・新製品開発支援」が多い。